



発行 長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会 【事務局】〒380-8546 長野市南県町657 信濃毎日新聞読者センター内  
電話 (026) 236-3480 ファクス (026) 236-3193 Eメール nie@shinanoji.net

## ■第11回長野県NIEセミナー■

- ◇日時：2015年11月7日(土)午後1時30分～4時30分
- ◇場所：信濃毎日新聞社長野本社2階講堂（長野市南県町657）
- 13:30 開会あいさつ
- 13:35 「文化報道の現場から」（60分）  
講師：共同通信社長野支局長 **金子直史氏**
- 14:35 --- 休憩 ---
- 14:50 「読んで語り合う新聞活用  
～学力テストの分析から～」(100分)  
講師：お茶の水女子大学大学院 准教授 **富士原紀絵氏**
- 16:30 閉会あいさつ
- 16:45 懇親会（当日参加可/無料）
- ◇参加費：無料
- ◇駐車場：なし ※周辺の無料および有料駐車場をご利用ください。
- ◇申込み：長野県NIE推進協議会 ☎026-236-3480

# 7日に県NIEセミナー

## 富士原さんと金子さんが講演

長野県新聞活用教育(NIE)推進協議会は11月7日、長野市南県町の信濃毎日新聞長野本社2階で「第11回長野県NIEセミナー」を開きます。講師はお茶の水女子大学大学院准教授の富士原紀絵さんと、共同通信社長野支局長の金子直史さんです。

富士原さんは「読んで語り合う新聞活用～学力テストの分析から」と題して講演します。富士原さんの専門は教育方法学、教育課程

の研究です。2013、14年度、文部科学省がお茶の水女子大学に委託した「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研

究」の実施委員を務めました。同省が行っている「全国学力・学習状況調査」（全国学力テスト）の結果について追跡調査を行い、家庭の不利を克服して児童生徒に学力を付けている小中学校を全国に訪ね、その学習指導についてまとめています。セミナーでは、こうした訪問先から、全校でNIEに取り組む学校などの事例と成果を交えて講演します。

2010年6月から3年間、文化部長を務めました。当日は「文化

報道の現場から」と題して、芥川賞、直木賞選考など文芸の世界について、また新聞読者ニーズの変化、複雑化する社会において「ものの見方」を読者に示す文化報道の使命について語ります。

セミナーは午後1時半から同4時半まで。終了後、隣接会場で懇親会を予定しています。講師、出席者との情報交換の場としてご参加ください。セミナー、懇親会とも無料です。参加希望者は県NIE推進協議会に申し込んでください。

## 県内研究指定校 公開授業始まる

長野県内のNIE研究指定校の公開授業が始まっています。10月は13日に大町市美麻小中学校で6年の国語「意見を聞き合って考えを深め意見文を書こう」、27日に長野西高校（長野市）で2年文系選択講座「南沙諸島領有問題について」があります。茅野市金沢小学校、丸子修学館高校（上田市）は終了しました。

11月は8校が公開予定。小学校は、10日に佐久市臼田小学校で特別支援学級の「なでして新聞を作ろう」、17日に下水内郡栄村栄小学校で5年の総合的な学習の時間、30日に下伊那郡下條村下條小学校で4年の総合的な学習の時間「下條村じまん新聞を作ろう」が予定されています。中学校は9日に長

野市柳町中学校で3年の総合的な学習の時間「スクラップ新聞を作ろう」、18日に上田市第一中学校で2年の社会「日本の諸地域」、19日に木曾郡南木曾町南木曾中学校で1年の総合的な学習の時間「中学校の様子を伝えよう（仮）」、27日に上伊那郡箕輪町箕輪中学校で3年の社会が公開されます。高校は6日に梓川高校（松本市）で3年の時事問題講座「新聞（文字媒体）から現代社会を読み解く」が予定されています。

12月は、東筑摩郡麻績村麻績小学校が4日、6年国語の授業を公開する予定です。

授業を公開する学校と同じ地域にある学校、県NIE推進協議会所属団体、県NIE研究会会員には、参加のご案内を事前にファクスでお知らせしています。問い合わせは県NIE推進協議会まで。